

あなたのその悩み 人権侵害かも…

那覇地方法務局および沖縄県人権擁護委員連合会では、職員や人権擁護委員が身近に起こる人権に関する相談を受け、問題を解決に導く取り組みを行っています。困ったことがあれば、どなたでもお気軽にご相談ください。



人権相談から問題解決までの流れ

①被害の申告・相談
事案の内容や具体的な被害について職員または人権擁護委員がお聞きします。

②調査
職員または人権擁護委員が必要に応じて調査を行います。調査は関係者の任意の協力を得て行い、あくまでも関係者の協力による任意のもので、警察や検察官が行うような強制捜査ではありません。

③救済措置
調査結果に基づき人権侵害が認められるかどうかを判断し、必要に応じて適切な措置をとります。

④処理結果通知・アフターケア
相談者に事案の調査や処理の結果をお伝えします。その他、手続き終了後も必要に応じて適切な対応を行います。



人権擁護委員が関与した具体例

小学校の不登校

不登校の女子児童の母から、その不登校の原因が担任教諭の不適切な対応にある旨の申告がされた。児童の母は、学校に対する不信感を強く抱いており、学校側も、母をいわゆるモンスターペアレントとして扱っていたため、両者は感情的に激しく対立していたが、法務局職員と人権擁護委員が、継続的に母や児童本人からの相談に応じつつ、母に対し、学校側と対応する場合の留意点を伝えるとともに、学校側に対し、児童側との話し合いを続けるよう説得した結果、両者の協議が整い、児童の不登校が解消された。

妹に対する性的虐待

女子児童から、自宅で兄による性的虐待を受けている旨のSOSミニレターが送られてきた。法務局職員が、児童相談所や学校側と対応を協議し、また、人権擁護委員が、女子児童と面談し、被害状況を聴取するとともに、一時保護に関する意思確認を行うなどした結果、SOSミニレター受領の3日後に、児童相談所に女子児童を一時保護させることができた。

お問い合わせ 那覇地方法務局人権擁護課 ☎854-1215

人権侵害に関するご相談はこちら

人権についての相談はなんでも

みんなの人権110番 **0570-003-110**

最寄りの法務局・地方法務局につながります。
●受付時間 平日午前8時30分～午後5時15分(全国共通)

学校でのいじめ、虐待など子どもに関する相談はこちら

子どもの人権110番 **0120-007-110**

いじめや体罰などの子どもの人権についての相談はこちらへどうぞ。
●受付時間 平日午前8時30分～午後5時15分(全国共通・通話無料)

職場でのセクハラ、家庭内暴力など女性に関する相談はこちら

女性の人権ホットライン **0570-070-810**

セクハラやDVなどの女性の人権についての相談はこちらへどうぞ。
●受付時間 平日午前8時30分～午後5時15分(全国共通)

インターネットでも相談を受け付けています

SOS-eメール
(こども用)

インターネット人権相談

検索



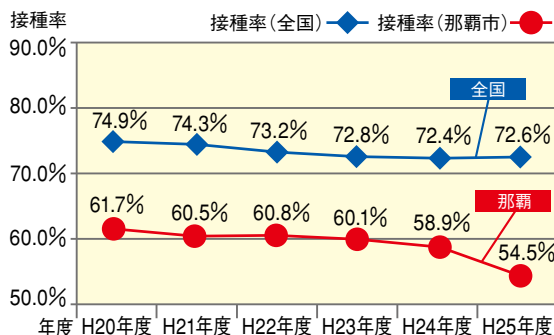
人権教室

こんなことも…
人権擁護委員は、おもに小・中学生を対象に学校訪問や総合学習の時間に人権教室も行っています。相手への思いやりの心や生命の尊さを学び、いじめ等の人権問題について考えます。
子どもたちにとって人権擁護委員は身近な存在となっています。



狂犬病予防注射の摂取率

登録をしていない犬も多いと考えられることから、実際の接種率は、下記数値より低いものと思われます。



●飼主の義務
生後3か月以上の犬は、飼い始めて30日以内に市に登録を行い、犬の鑑札の交付を受けましょう。また、生後91日以上の犬は、年1回の狂犬病予防注射を受け、狂犬病予防注射済票の交付を受けましょう。犬の鑑札と注射済票は常に飼い犬の首輪などに着けてください。

●狂犬病予防接種の現状
本市における予防接種率は年々下がっており、平成25年度は54.5%となっています。狂犬病が日本国内において57年間発生していないことにより、狂犬病への関心が薄れてきたことや、屋内で飼育している小型犬が増え、屋外へ出さないから大丈夫」と考える飼い主が増えていることが要因と考えられます。

狂犬病のまん延を防ぐには、予防接種率が70%以上であることが必要といわれています。市では狂犬病予防定期集合注射(毎年5～6月)を実施していますが、動物病院でも注射できます。まだの方は動物病院で注射してください。

環境トピック

飼い犬の登録と狂犬病 予防注射を忘れずに!!

《獣医の先生へ質問》



沖縄県獣医師会狂犬病予防対策委員会
委員長 川満 武聡 先生

質問

高齢のワンちゃんに予防注射をすると体調が悪くなってしまうのでは?と心配なのですが、ホントに大丈夫なんですか?

先生

むしろ高齢なワンちゃんほど免疫力が低下してしまうので注射するべきです。人間と同じで高齢者にインフルエンザワクチンを接種することと同じです。ただし、年齢に関わらず体調が悪いときは、様子をみて回復したときに接種することをおすすめします。その時は動物病院で「注射猶予証明書」を発行するのですが、市へ提出してください。



飼い主さん募集

環境衛生課では、収容された犬や猫を愛情と責任を持って終生飼っていたいただける新しい飼い主さんになってくださる方を募集しています。譲渡する犬や猫は、保護されて引き取り手のない犬や猫、飼い主の都合で飼えなくなった犬や猫です。

家族の一員として、犬や猫を飼うことを考えていらっしゃる方は是非ご検討ください。
※犬・猫の名前は仮名、年齢は推定です。

シロ(2才)メス

とても元気でハスキー犬似の横顔がチャームポイント



うみ(6か月)メス

小さな体でやんちゃに元氣よく遊ぶびっくり屋さん



クロ(8か月)オス

人が近づくと尻尾を大きく振りアピールするやんちゃな子



にょい太(7か月)オス

人が近づくと、にょい棒のようにすぐ手を出してくる



キーコ(3才)メス

短い足で「お手」をする姿が可愛い利口な犬



マリリン(3か月)メス

よく遊ぶ、元氣でおてんばな性格の三毛猫ちゃん



テリ(5才)オス

少し気が強いけど甘えん坊でのんびりやさん



アイ(3か月)メス

人懐っこく、ゴロゴロと音を鳴らす甘え上手



お問い合わせ

環境衛生課 ☎951・1530

犬:不妊去勢手術・混合ワクチン接種・フィラリア予防・ノミダニ予防済み。 猫:不妊去勢手術・混合ワクチン接種・ノミダニ予防済み。
※環境衛生課ホームページでも紹介しています。